



一般社団法人日本鉱物科学会
Japan Association of Mineralogical Sciences

宇宙航空研究開発機構 山川 宏 理事長 殿
宇宙科学研究所 國中 均 所長 殿
「はやぶさ2」プロジェクトチーム
津田雄一プロジェクトマネージャー 殿

2018年7月吉日

一般社団法人 日本鉱物科学会
会 長 土山 明

小惑星探査機「はやぶさ2」の小惑星リュウグウ到達成功に
関する声明文

宇宙航空研究開発機構は、小惑星探査機「はやぶさ2」が2018年6月27日に探査対象天体である小惑星リュウグウ（162173Ryugu）に到達したことを発表しました。今回の「はやぶさ2」のリュウグウ到達成功は、探査チームによる長年の周到な準備と弛まない努力の結果であり、日本の小天体探査技術が世界をリードしていることをあらためて示されました。一般社団法人日本鉱物科学会は、今回の成功に対して、関係者各位に敬意を表するとともに、心からお祝い申し上げます。

C型小惑星であるリュウグウは、含水鉱物や有機物を含んでいると考えられています。そのため、リュウグウは地球の生命の元になった水や有機物がどのようにして形成され、そして進化したのか、さらにこれらの物質がどのようにして地球にもたらされたのかを明らかにする上で非常に重要な天体です。今後、リュウグウにおいて様々な観測が行なわれ、最終的にはサンプルを取得し、地球に持ち帰ることで、これらの謎に迫ることが期待されております。また、水や有機物が、無機物である鉱物と反応することは、初期太陽系で起こった重要なプロセスの一つであり、その解明にも繋がると考えられます。本学会会員も少なからず「はやぶさ2」計画に携わっており、リュウグウ探査や、特に地球帰還後の試料分析に様々な鉱物学的側面から貢献すべく活動しております。これらの活動を通して、惑星物質科学に新しい知見が加わるよう、本学会としても協力を行なっていくとともに、今後の探査計画が滞りなく進むことを切に祈っております。

また、「はやぶさ」や今回の「はやぶさ2」にとどまらず、今後も継続して各種の天体へのサンプルリターン探査が実施され、地球や生命の材料物質の起源や進化の解明が益々進むことを期待しており、本学会としてもその推進に最大限の貢献を行なっていく所存です。